

あなたとJAをむすぶ情報誌

なかしべつ

2000
11月
No.311

「あるる」2周年記念オープンセールで店内はお客様で大賑わい。



お目当ての品を買い求めるお客様で、開店前は長蛇の列ができました

いい街・いい人・いい暮らし。

ありがとうございます。

ある「2周年記念オープンセール」。



新鮮な魚を買い求めるお客様



抽選でビッグなプレゼントが当たります



早朝から並んでいたお客様



店頭販売もお客様でいっぱい



開店二周年を迎えたAコープ中標津店「あるる」のオープンセールが、十月五日から七日までの三日間（第一弾）、開催されました。

オープンセールの三日間は、午前十時の開店を前に朝早くから長蛇の列ができ、期間中約一万二千人のお客様で賑わいました。

期間中、特別企画として先着三百人にビッグなプレゼントが当たる抽選会が行なわれ、初日は、米（ほしのゆめ）五袋が五十人、牛乳一リットルと玉子一ケースがセットで二百五十人に、二日目は、米・伯爵いも・生鮮食料品・日用雑貨・合わせて三百人、三日目には、ラッキー賞付きビッグプレゼントとして新巻鮭が五十人、農協乳製品工場のコーヒー牛乳と本食セットが二百五十人に、早朝から並んでいたお客様にプレゼントされました。

さらに、店内、店頭商品が超激安価格で販売され、大盛況のオープンセールとなりました。

今後も、新鮮で豊富な品揃えとより良い品をより安く、健康と安全性を考えた商品の提供に努めてまいりますので、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

21世紀に向けて 新たな展開を



北海道農業協同組合中央会
会長 宮田 勇

昭和二十二年十一月十九日に農業協同組合法（農協法）が制定されてから五十三年となります。

当時は戦争の傷跡が生々しく、国民食糧の確保が何よりも求められる食糧難の時代でありました。国民の食糧の確保は最重要課題であり、この時代背景の中で、農協法が誕生しました。農協法第一条には「農業団体を農民による農民の自主的団体たらしめ、これによって農民の自主的立場を確保し、この団体の発達を促進することによって農業生産力の増進と農民の経済的社会的地位の向上をはかる」ことを目的として制定されました。それから半世紀が過ぎ二十世紀最後の年を迎えておりますが、農業・JAを巡る情勢は幾度となく大きな試練の中におかれ、その都度JA運動を基調とした「相互扶助の精神」と「協同の力」でこれを克服し、組合員の社会的・経済的地位の向上に大きな役割とJAの発展に寄与してきました。

今年の農業・JAを巡る情勢としては、有珠山の噴火、口蹄疫の発生、雪印関連問題などが発生しましたが、一方、農作物の作柄は、天候にも恵まれ総体的に順調に推移してきております。このまま「有終の美」を飾

ることができそうですよう、念願する次第であります。

また、昨年、食料の安定確保、多面的機能の発揮、農業の持続的発展、および農村の振興を基本理念とした「食料・農業・農村基本法」が制定され、この農業政策の新たな展開に対応するために北海道農業の再構築がいま急務となっております。

北海道農業がわが国の食料生産供給基地として、二十一世紀への新たな農業の展開を図るためにも、北海道としての生産努力目標を設定し、生産・販売体制の強化、担い手の育成、経営安定対策などを確立していかなければなりません。

本年は第二十三回JA北海道大会を開催しますが、JAグループとして二十一世紀に向けて夢と希望が持てる新たな北海道農業の展開と共生の大地「北海道」の構築に向けたJA改革の実践に取り組みものとしております。

そのためにも組合員の皆様並びに役員各位におかれましては、これまでの半世紀の歴史と経緯を振り返り、創意と総力を結集して二十一世紀への新たな魅力ある北海道農業・JAの構築に向けて、共に全力で頑張ります。

農協の財務状況

平成12年度9月末における、財務の状況についてお知らせいたします。

貸付金

組助含む貸付金では、前年同期よりスーパール資金五億七千四百万円、生産基盤資金五千六百万円が増加し、当座貸越(組助含む)一千三百万円、近代化資金一千二百万円、転貸資金二千四百万円の減少となり、総額では五億七千八百万円の増加となっております。

クミカン

預かり残高については、前年同期より八千百万円が増加し、貸越残高は前年とほぼ同額となり、収入全体では、乳代(補給金含む)二億九千三百万円、個体販売一億三千万円、資金受入二千九百万円などが増加し、農産収入二千百万円、農業雑収入・農外収入で三千二百万円が減少してい

ますが、収入合計では四億六百万円の増加となっております。

支出については、肥料費一千六百万円、資金返済一千四百万円、支払利息六百万円などが減少し、飼料費五千二百万円、養畜費四千六百万円、賃料六千三百万円、修理費五千六百万円、家計費五千九百万円、貯金・共済三千四百万円などが増加し、支出合計で三億二千四百万円の増加となっております。

貯金

昨年同様に比べ、定期貯金四億円、普通貯金五億九千七百万円、組助預り残九千百万円、別段貯金八千八百万円などが増加し、全体では、十二億一千二百万円の増加となりました。

販売事業

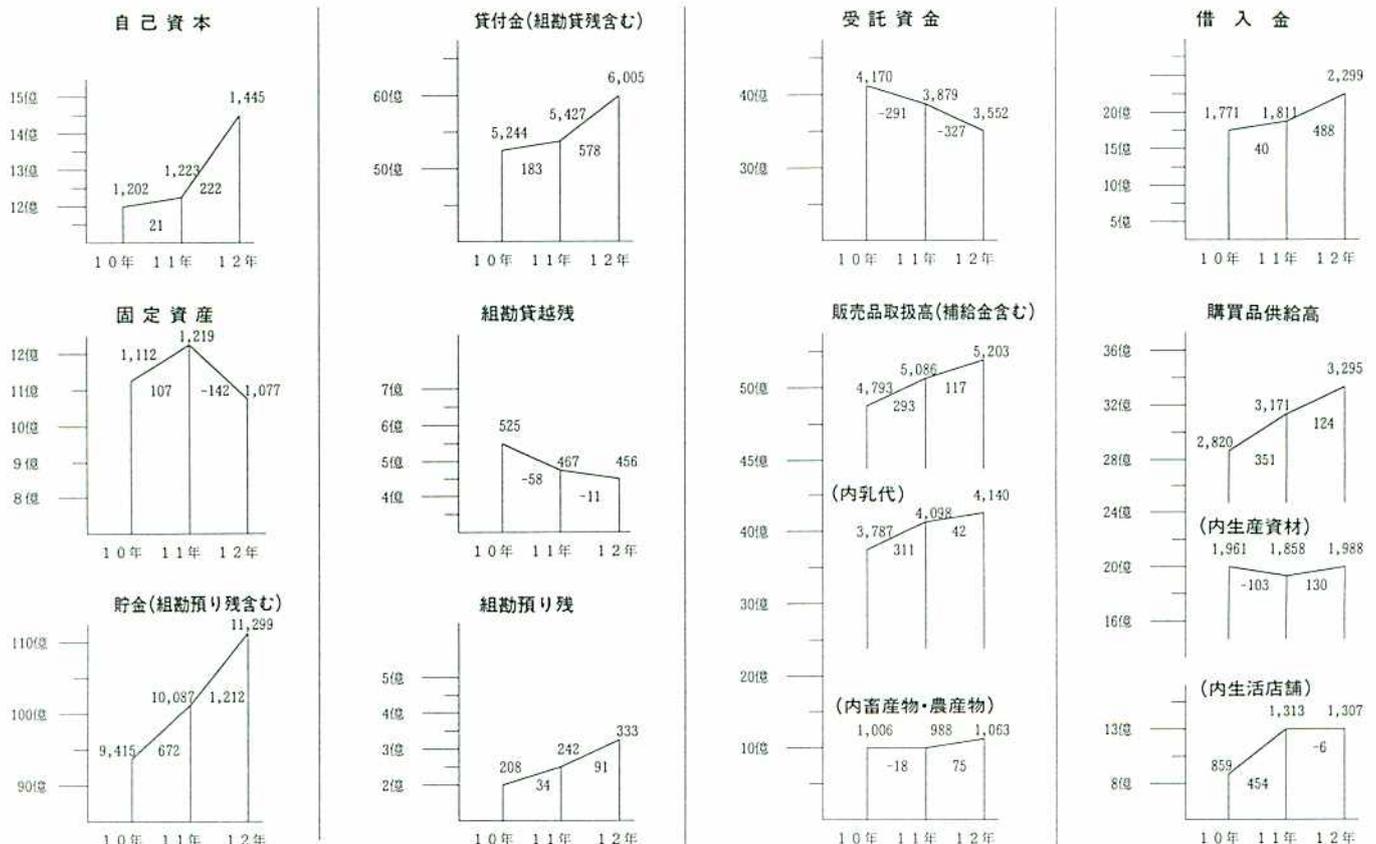
販売品取扱高については、乳代(補給金含む)四千二百万円、畜産物九千五百万円、共計でん粉が一千三百万円増加し、大根で三千七百万円減少したものの、全体では前年同期を一億一千七百万円上回る結果となりました。

購買・店舗事業

購買品取扱高については、飼料六千五百万円、燃料六千九百万円が増加し、種子で六百万円減少したものの、全体では、一億三千万円の増加となりました。また、店舗品取扱高では、ほぼ前年並みの実績となりました。

今後におきましても、なお一層の努力をして参りますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

平成12年度9月末事業概況(単位:百万円)



平成12・13年産 甘味資源作物などの生産者価格

「新たな砂糖・甘味資源作物政策大綱」ならびに本年3月に策定された「食料・農業・農村基本計画」を受け、決定された内容は以下のとおりです。

1. てん菜

	平成12・13年産	平成11年産
(1)農家実手取後	17,170円/トン	(17,150円/トン)
うち最低生産者価格	17,040円/トン	(17,150円/トン)
農業経営基盤強化特別対策	130円/トン	(-)
(2)新ビート産業将来ビジョン実現 推進事業費	90円/トン	(90円/トン)
○緑肥作物の導入、効率・省力化機械の導入などの取り組みを推進。		
(3)原料糖需要開発・加糖調整品対策	1億9千万円	(1億9千万円)
○原料糖の需要開発や加糖調整品対策について国が支援。		

	平成12年産	平成11年産
(4)てん菜糖の国内産糖交付金単価	87,923円/トン	(-)
○平成12年産から国内産糖交付金を交付する方式に切り替え。		

2. 馬鈴しょ

	平成12,13年産	平成11年産
(1)農家実手取額	14,070円/トン	(14,050円/トン)
うち原料基準価格	13,960円/トン	(14,050円/トン)
うち農業経営基盤強化特別対策	110円/トン	(-)
	平成12年産	平成11年産
(2)馬鈴しょでん粉の買入基準価格	108,434円/トン	(109,169円/トン)
(3)馬鈴しょでん粉工場環境対策の調査事業を実施。		



欧州視察を終えて

〔デンマーク〕

デンマークはユトランド半島地域とフェーン島、ジールランド島などの四百を超える大小の島々からなり、国土面積は九州よりやや大きく、地勢は平坦で最高地点でも海拔百七十三センチにすぎず、ゆるやかな丘が続きます。国土面積四百三十万ヘクタールに對し農地は二百六十九万ヘクタール（うち牧草地三十二万ヘクタール）で、農地の国土面積に占める割合は六三割で、その九〇割以上が耕地です。天然資源に恵まれないため、デンマークの経済は多年

にわたり農業に依存してきましたが、その一方で農用地面積は年々減少し、農家数も同様に減少しています。デンマーク農業の中心は酪農・畜産で農業総生産額の七割近くを占め、酪農・畜産と結びついた穀物・飼料作物の生産が行なわれています。

デンマーク農家の大半は自作的家族経営で、借地の比率は低く、酪農と養豚あるいは牛、豚の飼育と作物栽培などを組み合わせた複合経営が多く見られ、農産物の生産、加工並びに販売面にわたる生産者協同組合の活動が大きな役割を占めています。酪農戸数は一万三千戸あり、乳牛頭数六十八万頭（黑白フリージアン六〇割・デンマーク赤牛一三割・ジ

ヨーロッパ五カ国（デンマーク・スウェーデン・オランダ・スイス・フランス）を、酪農総合研究所副所長の久保嘉治氏を団長に、全国より二十八人が参加し、視察研修して参りましたので概要を報告致します。

歴史と伝統を重んじるヨーロッパ。農家の多くは、古い石造りやレンガ造りの家に住み、物を大切にし仕事場と生活の場をはっきり分け、暮らしを豊かにする工夫をしていました。

環境問題に関心が高く、 農業環境問題にも積極的に取り組む。



ノートルダム寺院にて(フランス・パリ)

ヤージー一七割・その他一〇割)で、平均規模は五十二頭、生乳生産量は四百六十七万リットル(一頭当りの乳量六千八百リットル)で一頭当りの乳量は増加したものの、飼養頭数が減少したため、近年は横這いの傾向となつています。また、食肉のうち牛肉の生産量は減少傾向をたどっていますが、生産規模の大きい豚肉は増加しています。デンマークの農業政策は七三年のECへの加盟以降、基本的にはEU共通農業政策に基づいて実施されています。主要目標は、①農地の保全と国土の有効利用②家族経営農業の維持③生産性および効率性の向上④環境保全型農業の推進⑤地域経済の発展⑥輸出競争力の向上による農業の発展⑦農業教育の促進などです。

また、デンマークでは国土に占める農地の割合が六〇割余りと高いことや、飲料水のほとんどを地下水に依存していることなどから、国民の環境問題に対する関心が極めて高く、政府は九一年に「農業の持続的発展のための行動計画」を策定し、以後、農業環境問題に積極的に取り組んでいます。特に、デンマーク農業の主体となつている畜産については、家畜糞尿貯蔵施設の設置を義務づけるなどの措置をとっています。さらに、デンマーク政府は食品の安全性対策にも力を入れるとともに、有機牛乳をはじめとする有機農産物の生産推進を図っています。

◎デンマークのオーガニック酪農

化学肥料、農薬をほとんど使わずに収穫された飼料を与え、運動を十分にさせ三十日以上飼育された牛から生産された牛乳と定められています。デンマークは国土が比較的狭いため、農業、工業の二つの産業がより集中して国土を利用して国民の関心が高く、農業分野においても糞尿・化学肥料・農薬による汚染について

の関心から、環境に優しい農法の研究が進められてきました。このような背景から、環境汚染をできるだけ排除し、より自然に近い環境で生産される牛乳製品に対して、より親しみと関心が高まり、これらに対する需要が増大してきたためオーガニック酪農が発展しました。

【スウェーデン】

スウェーデンはスカンジナビア半島の東側を占める南北に細長い国で、その約七分の一は北極圏内にあり、国土の大半は森林地帯で、主に中部以北に広がります。南部は肥沃な平野でヨーロッパ的規模の大農業が行なわれています。国土面積四千五百万リットルに対し農地は三百三十六万リットル(うち牧草地五十八万リットル)で、国土の六割余りが森林で農業経営は森林と密接に結びついており、大多数の農家は林地を保有しているため、林業が冬期間に貴重な就業機会を提供しています。国土に占める農用地の割合は約七割で、そのほぼ八割が耕地で残りはすべて牧草地です。北部と内陸部で酪農が盛んで、中部地域では穀物、南部地域では集約的な畑作と養豚が中心となっています。

耕地面積はやや減少傾向だが農産物の生産量は安定的に推移しており、主要穀物や畜産物の自給率は百割を超えています。経営の態様は家族経営で、一戸当たりの平均経営耕地規模は九十六リットルと、EUの平均を上回

っています。また、南部の平均経営耕地規模は北部に比べ大きく、南北間の格差が著しい一方、北部では林地の平均所有規模が大きく、小規模農家が減少して大規模農家が増加しています。農業生産は、小麦をはじめとする穀物生産と酪農を中心とし、豚肉の生産も盛んで農業生産額の六割余りが畜産物によって占められています。農産物の自給率は高く、主要穀物や乳製品についてはほぼ百割以上の水準に達しています。

◎乳業会社は生産者団体が運営
乳業会社では、ARL A (組合員一万一千六百二十八人のうち一万九百人が生乳供給)が生乳の三分の一を集乳してチーズを輸出し、今年四月にデンマークのMDフーズと合併して、EUで巨大な乳業会社になりました。一九九一年からオーガニック乳製品を生産し、二〇〇〇年には「エコミルク」としてオーガニック飲用乳が一〇割を占めるものと予想しています。中央団体は、酪農協同組合が集まってつくつているスウェーデン酪農協会で、傘下にはARL Aなど八つの酪農協同組合があります。

【オランダ】
オランダは国全体が低地の平原で国土の四分の一が海面下にあり、オランダ人が「オランダは神より与えられた国ではなく、我々自身がつく



オーガス・バイオガスプラント

った国だ」と自負するように、数世紀にわたる水との闘いによってつくられた国。国土面積四百二十万ヘクタールに、うち牧草地は二百五十万ヘクタール（うち酪農地は四十八万ヘクタール）、そのうちの耕地が半分、牧草地が半分です。オランダの土地は概して平坦であり、国土の四〇％は海面より低く農地の大部分はこの地域にあります。農業就業人口は過去三十年間に半減し、現在は総就業人口に占める割合は四割以下になっています。また、二十五歳以下の農業就業者の割合は一九％と他のEU諸国に比べ高く、六十五歳以上の農業就業者は三割と低くなっています。オランダは細分化された小規模な経営構造を特徴とし、集約的農業が発達しています。相続関係の法律の影響で農場が細分化された結果、生産の集約化以外に自立農場として存続する方法がなくなっています。しかし、大規模な酪農農場は肥沃な土地を持ち耕種農場として存続し、裕福で子供も少ないため農場の分割問題もあまり起きてきていません。その一方では、やせた砂質土壌で主にトウモロコシのサイロを保有し、集約的経営を行なっている酪農農場、食肉牛・養豚・家禽農場が存在しています。最近では小規模経営の農家数が減少している反面、五十歳以上の大規模経営の農家数が増加傾向にあります。オランダの自然条件は酪農・畜産に適しており、特に牛乳・

乳製品、豚肉の生産が盛んで、農家当りの乳牛の頭数はイギリスに次いで多く、一頭当りの搾乳量もトップクラスです。オランダ酪農は、二千年以上の歴史と伝統をもち、紀元前三百年頃には、北海の沿岸にゲルマンの一部族が住みつき、乳牛と羊を飼いはじめています。絶え間ない北海からの浸水と、川などの氾濫に悩まされながらも、土盛りをして農地を守り酪農を続け、やがてエダム、ゴードなどのチーズをつくりだしました。その伝統をうけついで現在のオランダは、チーズ、バター、小麦の輸出でEU十五カ国のトップの位置を占め、粉乳でも第二位を占めます。

酪農戸数は三万七千戸あり、乳牛頭数百六十万頭（黒白フリージアン六三割、赤白フリージアン三五割、その他二割）で、平均規模四十三頭、生乳生産量は一千九十六万ト（一頭当りの乳量六千八百四十二リットル）で、その生乳の三分の二を十八の乳業組合（七十七工場）で処理しています。乳業工場は工場規模が大きいたくなく、単一の乳製品を作るところが多く、生産ラインが効率化され、コストが安く、オランダ酪農の強味になっています。

◎今後のオランダ農業

干拓と区画整理による構造改革を農業政策の柱として推進してきたオランダも、近年EU共通農業政策の枠組みの中で競争して行かなければ

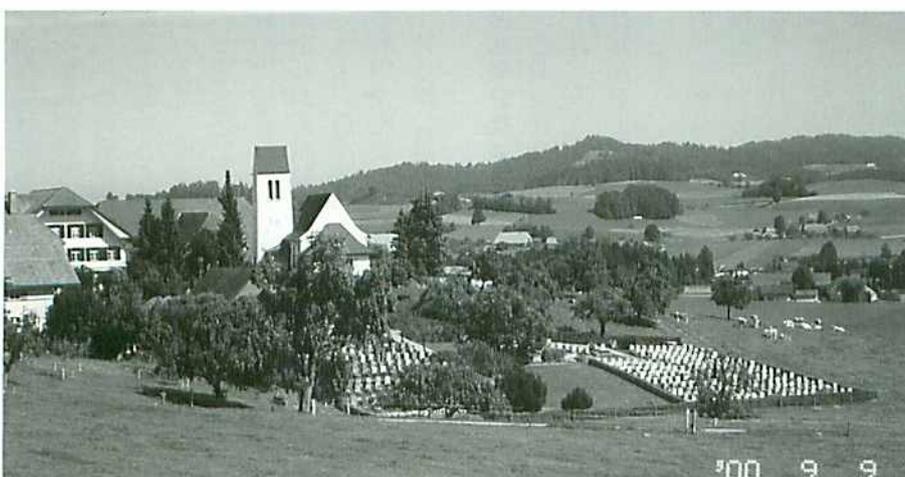
ならず、生産抑制と農産物価格の引き下げという欧州の農業政策に加え、環境問題に対する関心が世界的な高まりを見せる中で、他国に比べて厳しいといわれる各種の環境規制は、農業政策にも重大な影響を与えています。オランダでは、自国農産物の国際競争力の低下や畜産業を中心として厳しい環境規制への対応といった問題を解決するために、九五年四月農業自然管理水産省は新たな政策案を打ち出しました。

【スイス】

スイスはヨーロッパのほぼ中央に位置するヨーロッパの屋根と呼ばれる山国で、国土面積は九州よりやや小さい。国土の六〇％はアルプス山系で、特に中南部一帯はアルプス山系の中心部にあたります。国土面積四百十萬ヘクタールに、うち農地は百五十八万ヘクタール（うち牧草地百十五万ヘクタール）で、農地の国土面積に占める割合は四割弱で、そのうちの耕地は三割弱を占めるにすぎず、牧草地が七割強を占めています。アルプスなどの山岳地域が多く、国土の四割は海拔千三百メートルを超えているため、放牧を中心とした山岳酪農が多く見られます。

スイスの全農家九万三千戸の五〇％にあたる四万六千戸が乳牛を飼養しており、乳牛頭数七十四万頭（ブラウンスイス四四割、シンメンター四〇割、ホルスタイン一〇割、その他五割）で平均規模は十六頭、生

乳生産量は三百八十九万ト（一頭当りの乳量五千四百リットル）で、その三百万ト余りがチーズ向けが多い（チーズ四九割、飲用一六割、クリーム一四割、バター一二割、ヨーグルト四割、その他五割）。チーズは、一千二百七十七カ所の村の製造所で作られていますが、製造されたチーズの半分が輸出され、政府の支援がゆき届いています。古いチーズ製造所の



スイスの農村風景

建て替え費用は、政府からの助成があり無利子で借りられます。これらのチーズ製造所は、酪農家たちの協同組合で経営されていますが、チーズ向け生乳の集荷だけ行ない、チーズ製造所へ出荷する組合と、チーズ製造もあわせて行なう組合の二つに分かれています。

◎スイスの農業政策

スイスの農業は、価格支持や生産調整、輸出補助金、輸入課徴金などにより高水準の保護措置が講じられてきました。E.U加盟を巡る国内議論や、E.Uの動きの中で保護水準や国内外の価格差などに対し、批判が多く浴びせられてきました。このような中、一九九二年の「第七次農業報告」で農業の新政策の方向が示され、これに基づき、牛乳などの支持価格の引き下げや、主として山岳地域の農家の所得を補完するため、農家に対し直接所得補償支払い（九三年）が行なわれることとなり、高水準の生産者価格支持に対する消費者の負担は、消費者補助や低価格での輸入による国内価格の均等化により緩和されています。一九九六年、従来政府が行なってきた補助金方式による農業の保護から、環境の概念などを取り入れた生産者への直接支払いへの移行のため、環境を考慮した農産物生産を行なうことが証明される農家に対してのみ、直接補助金の支払いが行なわれることとされています。

【フランス】

フランス本土は概してゆるやかに起伏する平野や丘陵、水量の豊富な河川に覆われています。気候は地理的位置と地勢から海洋性、大陸性、山岳性、地中海性の四つの型に区分されます。総体的に大西洋から吹く偏西風と地中海からの暖風に支配され、緯度のわりには温暖です。

国土面積五千五百万ヘクタールに対し

農地は三千二十万ヘクタール（うち牧草地一千六十三万ヘクタール）で農地の国土面積に占める割合は五割で、そのうち耕地が約六割、牧草地が約三割です。酪農戸数は十四万六千戸あり、乳牛頭数四百四十三万頭（ホルスタイン四八割、シャロレー一五割、ノルマンディー一割、モンペリエート九割、リムザン七割、その他一〇割）で、平均規模は三十頭、生乳生産量は二千四百七十九万リットル、一頭当りの乳量は五千六百二十リットルです。

フランスは、小麦を中心とした穀物生産が盛んで作付面積の拡大と肥料の多投、品種の改良などによる単収の増加から、一九七〇年代後半以降生産量は大幅に増加しました。その結果、小麦、大麦、とうもろこしなどの穀物、油糧種子、牛肉、ワインなどの生産がE.U全体の生産量において高いシェアを占めるなど、E.U最大の農業生産国となっています。

◎フランスの農業政策

フランスでは、家族経営農業を維持・発展させながら経営規模の拡大を図ってきた結果、平均経営規模は過去三十年間で約二倍になり、ガット・ウルグアイ・ラウンド合意などの状況下で、輸出農産物の国際競争力の一層の強化を図る必要が生じたことや、国土維持・保全に対する関心などを背景に、一九九五年一月には農業近代化法が制定され、農業の一層の近代化と発展という目標が示されてきました。

農業近代化法とは、①農業の近代化と発展②E.Uの国際的約束から生じる新たな状況への農業の適応③市場需要への適応能力と競争力の保証、輸出能力の維持・強化④環境保全を尊重しつつ、国土整備開発、農村空間の経済的・社会的な均衡の推進⑤援助受け入れ国の農業利益を尊重しつつ、食料援助活動の促進などでこの法律に基づき、若年農業者の就業促進農家負担の軽減、社会保障制度の強化などが重点的に進められています。

今回の視察で、ヨーロッパ諸国は国民の環境問題に対する関心が極めて高く、農業環境問題に積極的に取り組んでいることに関心させられました。

最後になりましたが、今回海外視察という貴重な体験をさせて頂き、農協・組合員・職員・関係機関の皆様にご厚くお礼申し上げます。海外視察の報告とさせていただきます。



フランス酪農ショー

畜農技術

ポストディッピングを見直す

北根室地区農業改良普及センター

搾乳後に行なうディッピング（ホストディッピング）は、新たな乳房炎感染防止のための手段として定着しているという方が多いと思います。しかし、本当にそのディッピングは適切な方法でしょうか。もう一度、見直してみましよう。

一、ディッピング五ヶ条

①搾乳直後に行なう

搾乳後の乳頭は、乳頭口が開いており、時間が経つにつれて再び閉まってくる（図一）。

搾乳直後にディッピングをするこ



- つくり、搾乳中乳頭に付着した細菌を殺菌し、新たな細菌の侵入を防ぐこととなります。
- ②乳頭の三分の二をカバーする
- 搾乳後は、ユニット装着部分に牛乳の皮膜が出来ています。放っておくとこれを栄養源に細菌が増殖しますから、乳頭から牛乳の皮膜を除去するようにディッピングします。
- ③効果が確認されているディッピング剤を使用する
- 乳頭は毎日の搾乳で常に、細菌の侵入の危険にさらされ、特に乳頭口付近は非常にデリケートです。殺菌効果が確認されたものを使用しましょう。
- ④正しい濃度を守る
- ディッピング剤は液剤によって濃度が異なります（表一）。正しい濃度で使用しなければ殺菌効果の減少や、乳頭が荒れることなどにもつながります。
- ⑤牛をすぐに寝かせない
- ディッピング剤が乾くまで、牛を立たせるようにします。飼料給与法の内容や順番などの見直しをしてみることも一つの方法かもしれません。
- 二、ディッピング剤のポイント
- ①搾乳毎に新しい液剤にする。

表1 主なディッピング剤

品名	主成分	希釈倍率
クォーターメイト	ヨードホル	原液
コートラック	ヨードホル	4~5倍
アイオディップ	ノキシノールヨード	2倍
ファインディップ	ノキシノールヨード	4~5倍
デイリーガード	ノキシノールヨード	2倍
セラテック	ノキシノールヨード	原液
コートテンスリー	ノキシノールヨード	2倍

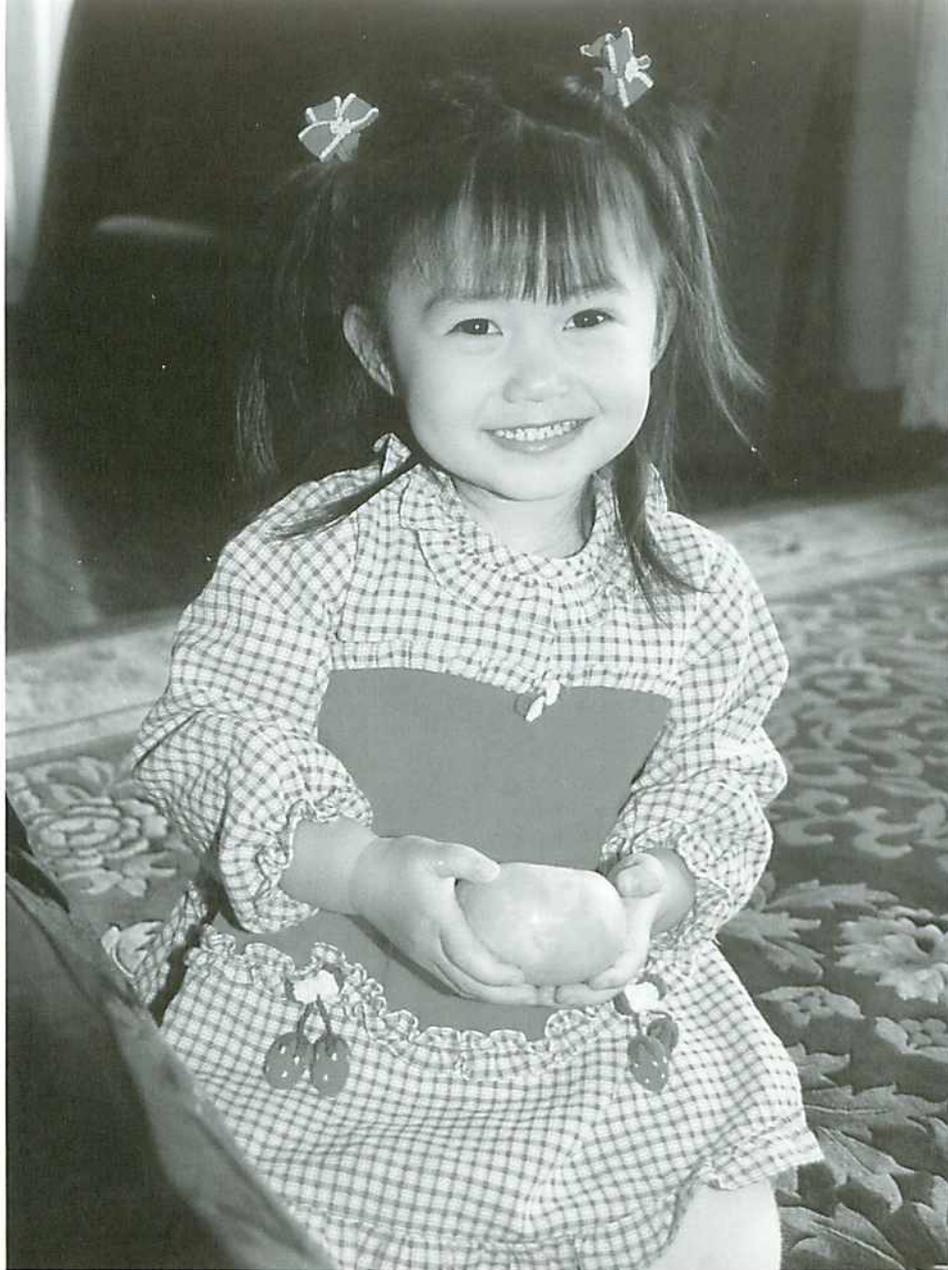
- ディッピング剤は乳汁などの有機物が混入すると殺菌効果が低下します。搾乳毎に新鮮な液剤に交換しましょう。
- ②ディッパーを洗浄する
- いくらディッピング剤を搾乳毎に新しくしたとしても、肝心の入れ物が汚れていては元も子もありません。ディッパーはいつも清潔にしておきましょう。
- ③清潔な状態で保管する
- ディッピング剤のタンクなどに、

- ゴミなどが入ることも殺菌効果の低下につながります。また、長期間の静置や、冬場は凍結などで液剤が分離している場合も考えられますので、その際には混和してから液剤を使用するように心がけましょう。
- 三、ディッパーの特徴
- ディッピングを行なう上でディッパーは重要です。ディッパーの種類による特性を理解しておきましょう。
- ①侵漬タイプ
- 液剤が容器に戻るタイプ（写真一、右側）と、戻らないノンリターンタイプ（写真一・左側）があります。ノンリターンタイプでは、液剤が戻らないので有機物が液剤に混入しません。スプレータイプよりも少ない液剤で、全体をディッピングすることができ、もっとも確実な方法として推奨されています。
- ②スプレータイプ
- 手軽にディッピングでき、液剤に有機物が混入する心配はありません。しかし、乳頭の裏側などにかかりにくく、確実に乳頭全体をディッピングしているかどうか、確認する必要があります（写真二）。



写真1

写真2



「ママ～柿むいて～」

協和地区 永谷芳晴・正枝さんご夫妻 次女 里緒菜ちゃん

わが家の 人気者

今月のもっとも元気で明るい人気者は、協和地区にお住まいの永谷里緒菜ちゃんだよ。

里緒菜ちゃんは、大好きなアンパンマンのビデオを見て待っててくれたんだ。とっても静かに、ちゃんとお座りして見てたんだよ。里緒菜ちゃんのお家にはうさぎちゃんがいるんです。里緒菜ちゃんは、草をあげ

る所を見せてくれました。とっても上手にあげられるんだよ。「里緒菜は、ぜんぜん怖がらずに、カゴの中のうさぎを出そうとするのよ」と笑って話すママの正枝さん。里緒菜ちゃんは、度胸がいいのかな。最近、里緒菜ちゃんは、パパとママが夕方のお仕事に行っている間、お姉ちゃんのお万理菜ちゃんと牛舎の事務所で

歌の上手な 元気っ子アイドル。

遊んで待ってるんだって。

お姉ちゃんとはたまにケンカもするけど、本当はとっても仲よしなんだって。とっても度胸も良くてしっかり者の里緒菜ちゃんだけど、ちよつぱり甘い坊な所もあるとか。とってもかわいい里緒菜ちゃんのことだから、パパもママもメロメロなんですよ。

最後に里緒菜ちゃんのおきの特技を教えちゃいますね。それはお歌です。とっても上手にアンパンマンの歌を歌ってくれたよ。将来は、アイドル歌手まचाがいなだね。

みんなに愛されて、これからも、すくすく大きくなあれ。

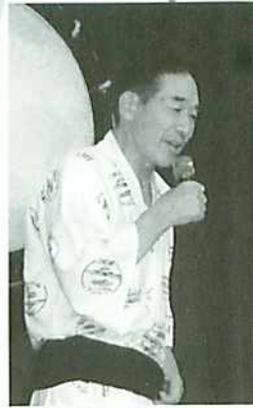


とっても上手に踊りまですていいます



「ブドウ狩り・リンゴ狩り」を楽しみました

アクシデントも 心に残る楽しい思い出。



自慢の声を披露したカラオケ大会

熟年会秋期研修旅行が、十月十六日から十九日まで層雲峡・洞爺湖・札幌を三泊四日の日程で四十七人が参加し開催されました。

●十月十六日(月) 晴れ
午前八時、参加者全員が元気に農

協前を出発し層雲峡まで観光バス二台で約三百歳の旅行の始まり。

阿寒湖を通り午前十一時過ぎ、少し早い昼食を足寄でとり、士幌・然別湖・糠平・三国峠を経由し、車窓から雪をかぶった大雪山連峰と紅葉を眺めながら層雲峡に到着し、全員で記念写真。午後三時三十分、一泊目の層雲峡観光ホテルに入り、温泉で疲れを癒し午後六時より藤井会長の挨拶、服部副会長の乾杯で宴会が始まり、カラオケなどで盛り上がりしました。

●十月十七日(火) 晴れ
午前八時、ホテル従業員の見送りを受け出発。上川・比布を通り旭川

から高速に乗り千歳に向かう途中、バス一号車がパンクするアクシデントがあり、皆さんを二号車に同乗してもらい千歳へ。役員三人(服部氏・弾正原氏・佐々木氏)と事務局の四人は二号車に乗りきれないため、タイヤ交換終了後、一号車で昼食会場の千歳に向かいました。

昼食後、予定通り二台のバスで支笏湖・美笏峠を通り壮瞥町に到着し観光農園で「ブドウ狩り」とリンゴ狩りを楽しみました。皆さん味見をしながら二・五*お土産に。その後、二日目の宿泊地、洞爺サンパレスに入り午後六時より弾正原氏の挨拶と乾杯で宴会が始まり、郷土芸能「洞爺聖龍太鼓」を堪能しました。

●十月十八日(水) 曇りのち雪

朝食後、午前八時曇り空の中、札幌に向けて出発。留寿都を通り中山峠に差し掛かる頃から雪(例年より一週間程早い)がちらつきはじめ、峠では強風と雪でタイヤにチェーンを装着するハブニングもありましたが無事、大倉山ジャンプ台に到着。間近に見る九十級ジャンプ台に皆さん圧倒され気味。その後、北海道神宮で参拝し、札幌市内へ。

時計台・旧道庁を車窓から見学した後、テレビ塔で自由時間。塔から市内を望んだり、地下街でショッピングを楽しんだりして、午後五時より札幌ファクトリー内で夕食をとり、午後六時過ぎにアートのホテルズ札幌にチェックインしました。



●十月十九日(木) 晴れ

午前八時、ホテルを出発し中標津へ向け約四百歳の旅。アツという間の四日間だったようで、参加者の中にはもう一泊したいと言う声が上がリ、車中は旅行を振り返り思い出話して盛り上がり、午後五時全員無事「ブドウやリンゴ」をお土産に帰町しました。

健康に留意し、来年も多くの会員の方が参加して下さいます。

日本向けに開発した「ローコストミルクキングパーラー」を視察。

中標津ETA視察研修

中標津ETA（会長・横田光彰）

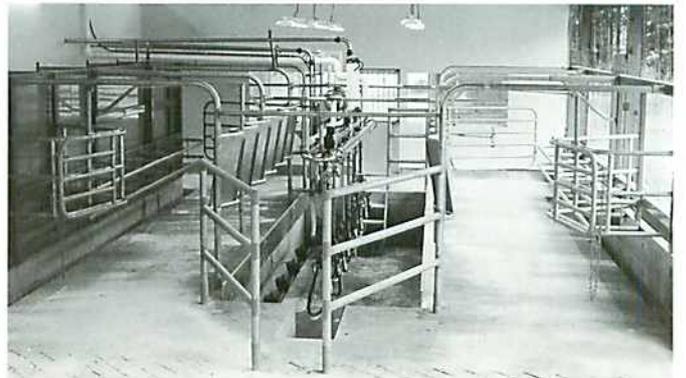
の視察研修が十月十九日～二十日に、
 会員五人により札幌近郊の野澤組北
 海道牧場と、野澤組札幌営業所を視
 察してきました。

野澤組北海道牧場では低価格、工
 期短縮で効率的な牛群管理の出来る
 木造牛舎（フリーストール牛舎）と、
 ボーマチック社（米国）とワイカト
 社（ニュージーランド）が共同で、
 日本の酪農家向けに開発したヘロー

コストミルクキングパーラーなどを
 視察しました。

その後、野澤組札幌営業所に行き、
 現在の輸入精液の成績、需要の現状
 及び輸入受精卵の有効利用の仕方と、
 低価格輸入受精卵の説明を受けまし
 た。

その夜、ジャパン・ホルスタイン・
 プリーディング・サービス社と精液
 や輸入受精卵の説明を受け、視察を
 終了しました。



男女共同参画社会の実現に向けて。

J A 根室地区女性部研修会

平成十二年度J A 根室地区女性部
 研修会が十月二十六日、トヨーグ
 ランドホテルで開催されました。

今回のテーマは「男女共同参画社
 会に向けて」と題し、東京大学助教
 授・瀬地山角先生を招いて行なわれ
 ました。

「お笑いジェンダー論」と題して行
 なわれた講演の中では、社会や文化
 の中で作られた、「男は仕事、女は
 家庭」と言った性別の視点を変える
 事で、男女共同参画の一步につな
 がるのお話しがなされました。先生

の軽妙なお話しに会場からは、笑
 が絶えず、貴重な講演でした。
 午後からは、Aコープマーク商品
 説明会が実習形式で行なわれ、か
 つおだしを使った、澄まし汁に挑
 戦しました。



楽しい講演で笑いが絶えません



澄まし汁はとっても簡単でした



瀬地山角先生



たわわに実った梨に思わず笑みが…

オホーツクの秋を満喫！

女性部日帰り研修旅行



サンゴ草はきれいなルビー色でした(カラーでないのが残念)

十月二日、恒例の女性部日帰り研修旅行が行なわれました。

一行は、道東の秋の名所、網走市能取湖を訪れました。能取湖には、サンゴ草（正式にはアッケシソウ）群生地があり、ルビー色に色づいたサンゴ草が、じゅうたんを敷きつめたように咲いていました。参加者は群生地の中にある散策路を歩きながら、真っ赤なサンゴ草と湖と空のコントラストの美しさを楽しんでいました。

秋景色を満喫した一行は、天都山観光フルーツ園を訪れ、梨狩りやりんご狩りを行ない、一足早いオホーツクの秋を十分に楽しめました。



開会の挨拶を行う高橋組合長

J A事業に女性の声を。

女性部と役員との懇談会

十月二十五日、J A女性部と農協との対話を踏むための懇談会が開催されました。開会にあたり、高橋組合長が「女性のJ A運営に対する参画に期待します」と挨拶。経過説明として南出参事を始め、各部の部長より各事業の動き、報告、説明を受けました。参加した女性部からは、中山間地域直接支払制度や「あるる」事業についての質問や要望が次々と出るなど、活発な懇談会となりました。参加者の中には「今後も、女性の声をJ A事業に反映させるため、継続して開催してほしい」との声も上がっていました。懇談会終了後、ボーリング交流会を行ない親睦を深めました。



J A事業に理解を深めました



肉の切り方もおいしさのヒケツ!

みんなの喜ぶ顔が目には浮かぶわ!

フレッシュミズ・ソーセージ作り

十月二十七、三十日の二日、フレッシュミズソーセージ作りが中標津町畜産食品加工研修センターで行なわれました。

大きな肉の塊を、筋を取りのぞき



何よりできたてがうまいんです

ながら、三センチの角切りにしていきます。スパイスを混ぜ、ミンチになった肉を機械を使い、丁寧に羊腸に詰めていきます。

参加者は「今日は、ソーセージ作りに行つて来るからね!」と言うと子供達は大喜びしてたよ、「手作りのソーセージは添加物が少ないし、安心だしね」などと話し、子供達の喜ぶ顔を思い浮かべながら、楽しく実習していました。

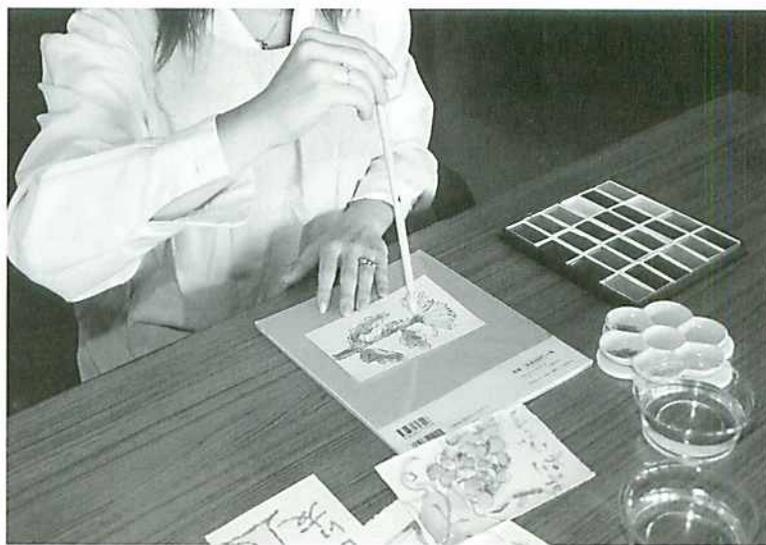
絵てがみで集中力を身につけよう!

女性部絵てがみ教室



い時間を過ごしていました。

この絵てがみは、筆使いが大変特徴的で、かなりの集中力を必要とします。参加者は「集中力が身につくと、ボケ防止になるかも」と話し、楽し



十月十八日、農協大会議室において、「絵てがみ教室」が行なわれました。参加者は八人と少なめでしたが、筆を持ち、心を落ちつかせ、自分だけの時間を楽しんでいました。

絵てがみは、自分の感じた感動を絵と少しの文

で作るもので、参加者は

菊やしめじ、柿など秋の

画材を手に取り、描いて

いました。

この絵てがみは、筆使

いが大変特徴的で、かな

りの集中力を必要としま

す。参加者は「集中力が

身につくと、ボケ防止に

なるかも」と話し、楽し

次たい風の中、21世紀の農業を思い ロールパック・メッセージ活動をしました。

青年部副部長 西垣 努



十月十二日、ロールパックメッセージを作りました。今年では設置場所が西垣牧場とのことでしたので中標津・計根別線沿いにおき、まあまあの出来上がりでした。青年部役員みんなで仕事を分担し、少々時間はかかりましたが、冷たい

風の中よく頑張りました。二十一世紀の農業へ我々青年部は何を築き何を残して行けるのか今から真剣に考えて行かなければならない大事な時期なのかもしれないのではと、みんなそれぞれの思いを心に焼きつけながら作業を終えました。大変ご苦労様でした。



コーヒー牛乳無料 配布で交通安全 ミルクキャンペーン を実施。

青年部消費拡大委員長 藤田 晋

十一月二日、中標津地方自動車整備組合前において交通安全ミルクキャンペーンが警察、交通安全協会、青年部役員、女性部の協力を得、実施いたしました。

当日は、大変風の強い中、一台一台、交通安全を呼びかけながら乳製品のPRをし、コーヒー牛乳の無料配布をいたしました。三百個用意したコーヒー牛乳も、一時間ほどですべて配布し終了いたしました。

これから雪の降り積もる時期になってきましたが、まだまだ農作業なども、一般車両と対向する機会もありますが十分に安全に注意し、作業などを行なってもらいたいと思います。最後になりましたが、協力下さった皆さん、寒中大変ご苦労様でした。誌上をもってお礼申し上げます。





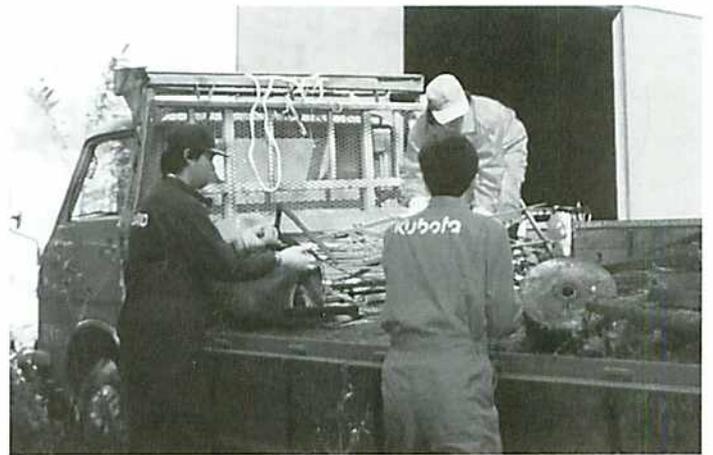
作業を終え 心地のよい一日 でした。

青年部開陽支部 中本 信幸

環境整備として、廃ビニールと鉄くずの回収作業を十月十九日に行ないました。

決められた枠の中で、みんなの希望にこたえられませんでしたが、わずかながらも「キレイになった」(?!?) 気がしました。途中、道に迷ってしまいました。無事に業者へたどり着くことが出来ました。

ビニールは荷台が上がるので楽でしたが、鉄くずは、てっきり重機でおろしてくれると思っていましたが、甘かったです。人の手でおろしました。疲れましたが、秋の風は涼しく心地の良い一日でした。



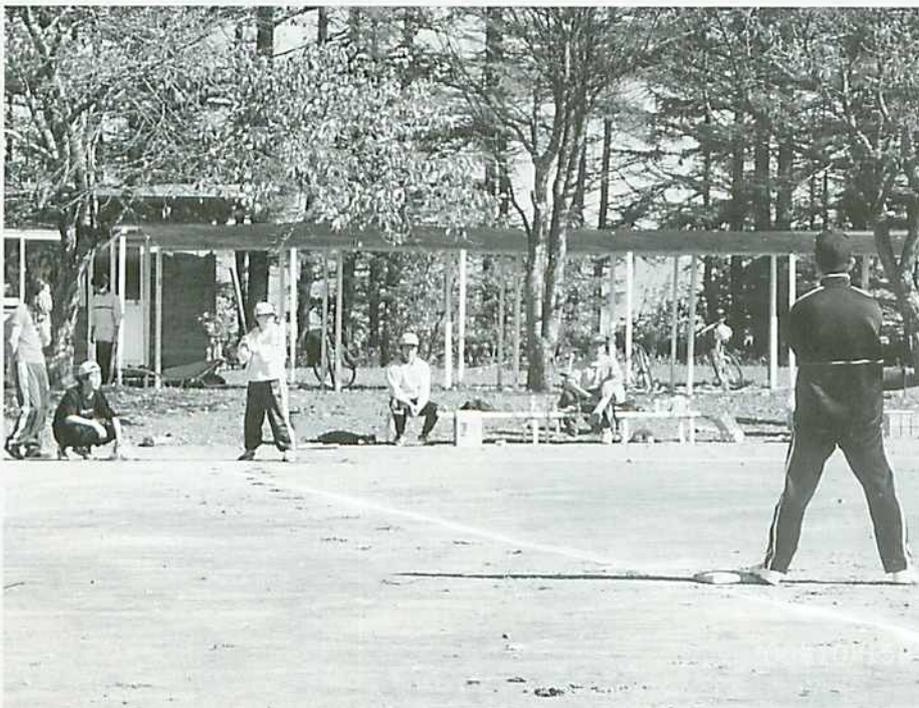
秋のソフトボール大会

青年部俣落支部 藤田 誠

青年部俣落支部では、十月十五日に秋のソフトボール大会を俣落小学校グラウンドで開催しました。

当日は天候に恵まれ、大人から小学生まで集まり、学校の先生チームも加わり五チームで試合が行なわれ、熱戦を繰り広げました。

終始、笑いが絶えず、好プレー・珍プレーが続出し和やかな雰囲気で行なわれました。



温泉旅行やカタログギフトが当たるビッグチャンス!!

期間は2000年11月末日まで

トヨタの車で温泉旅行!

期間中、JAでトヨタの新車をご成約の方に、抽選でプレゼント!!



A賞

道内温泉旅行
(1泊2食)ペアで30組様



B賞

カタログギフト
セレクトフォーユー
50名様

カタログの中から選定の豪華品物とそれらを
使った加工品をお選び下さい。

- ★プレゼントの対象者は、10月1日から11月30日までの間に、トヨタの新車をJAで購入された方全員とさせていただきます。(但し、業務用車両等の法人所有車両は除外させていただきます。)
- ★新車購入手続きをもちまして、自動的にプレゼントへの「申し込み」となりますのでご応募等の申し込みの必要はありません。
- ★当選の発表は、期間終了後厳正なる抽選の上、賞品の発送をもってかえさせていただきます。(2001年1月中旬)
- ※A賞は上記4ホテルの中から好きなホテルをお選びいただけます。尚、宿泊施設までの交通費は当選者負担となります。
- ※旅行手配は(株)豊後観光 札幌支店がいたします。
- ※ご希望のホテルが、ご利用できない場合があります。
- ※賞品は現金とのお引き換えはできません。ご了承下さい。詳しくは、お近くのJAにお問い合わせ下さい。



第七回理事会の経過

開催日時 平成十二年十月三十一日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、平成十二年度九月末予算統制計画について
- 二、職員組合からの要求（平成十二年度賃上げ）について
- 三、平成十三年度営農計画基本方針と単価設定について
- 四、乳牛保留資金融資要領の一部改定について
- 五、住宅ローン貸付要領の一部改定について
- 六、各資金の借入申込について
- 七、中山間地域共同取組活動推進委員会の設置について
- 八、でん粉粕運搬価格の改定について
- 九、北海道農業信用基金協会の出資増

口について

十、信用事業リスク管理強化委員会の設置について

〈協議事項〉

- 一、第二十三回J A北海道大会の参加者について
- 二、地区別懇談会の議題と日程について
- 三、九月末組勘状況と中間協議について
- 四、平成十三年度酪農畜産政策・価格対策運動の実施について
- 五、第五期生乳安定生産対策設定に係る生乳計画生産数量の意向把握について
- 六、事務所増築に係る施設の追加について
- 七、WTO農業交渉に関する日本提案策定に向けたJ Aグループの主張について

〈報告事項〉

- 一、平成十二年度九月末購買事業概況について
- 二、平成十二年度九月末店舗事業概況について
- 三、平成十二年度九月末信用・共済事業概況について
- 四、リスク管理体制などの点検結果について
- 五、配合飼料の価格について
- 六、経済預け金及び出資配当金などの状況について
- 七、畑作物の出荷状況について
- 八、畜産販売事業概況について
- 九、平成十二年度上期北海道酪農体質強化対策費の支払いについて
- 十、ミルクの里の事業実績について
- 十一、畜舎環境調査の結果について
- 十二、生乳生産状況について
- 十三、家畜改良課上半期実績報告について

10月の組合日誌

- | | |
|-----|---|
| 2日 | 乳牛改良同志会役員会 |
| 5日 | 年金相談会
中標津ETA打合せ |
| 7日 | てん菜役員会 |
| 11日 | 畜舎環境調査打合せ会議 |
| 12日 | 畜舎環境調査
農村環境計画に係る勉強会 |
| 13日 | 畜舎環境調査
家畜衛生推進会議
第3回青年部消費拡大委員会
中間協議 |
| 16日 | 巡回ドック2次検診
役員協議会 |
| 18日 | 女性部えてがみ教室 |
| 20日 | ホクレン販売推進委員会
第二俣落牛乳出荷路線打合せ |
| 23日 | 第4回青年部レクリエーション委員会
第7回青年部調査広報委員会 |
| 24日 | 乳牛改良同志会勉強会
青年部役員会 |
| 25日 | 女性部とJA役職員との懇談会 |
| 26日 | 第5回営農委員会
農村環境計画打合せ |
| 27日 | 第5回生産委員会 |
| 30日 | 第3回管理購買委員会 |
| 31日 | 第7回理事会 |

3カ月予報

十一月から一月までの概要

三カ月平均気温は、平年並か高い可能性が大きく、その確率はともに四〇％程度です。

可能性の大きな天候見通し
十一月

低気圧の通過後、冬型の気圧配置となり、平年と同様に日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、その他の地方では晴れる日が多いでしょう。

十二月

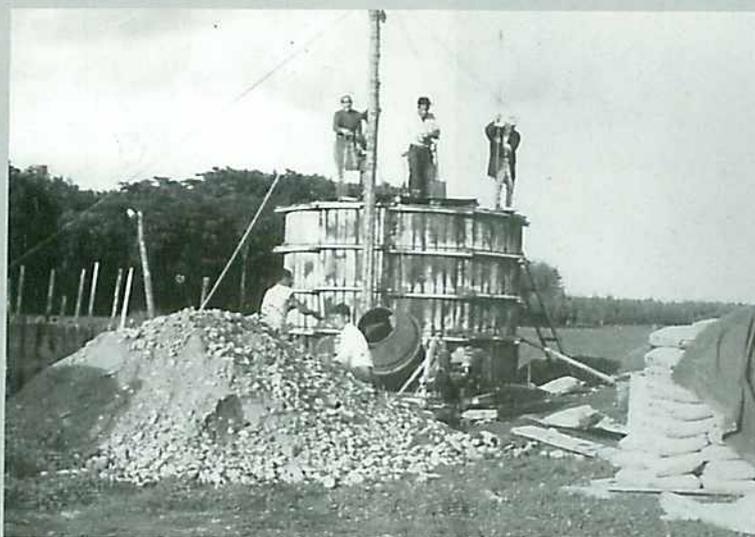
低気圧の通過後、冬型の気圧配置となり一時的に強い寒気が入るでしょう。平年と同様に日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、その他の地方では晴れる日が多いでしょう。

一月

平年に比べ、冬型の気圧配置は長続きしないでしょう。このため、日本海側では平年に比べ曇りや雪の日が少なく、その他の地方では、平年同様晴れる日が多いでしょう。気温は高いでしょう。

三カ月間降水量は平年並でしょう。

懐しき古き一枚の写真



昭和30年代

酪農の基盤整備で公的補助制度もあって、直径3 m位のコンクリート流し込みのサイロを、手間替作業で型枠の組み立てコンクリートの流し込み作業などは自分達でやったものです。

写真・文提供 房川 喜延氏